

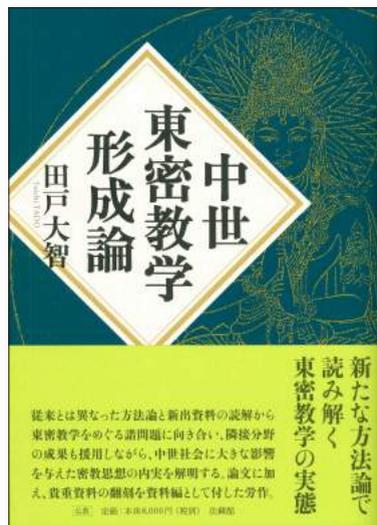
# 中世東密教学形成論

たど たいち

田戸大智著

▼A5判・上製カバー・四六四頁・本体八、〇〇〇円十税

2018年3月刊行



東台両密の比較から、東密教学の形成と展開について新知見を提示。更に新出資料から東密と禅・南都教学との思想的関係を読み解き、資料編として二本の翻刻を収録した画期的労作。

## 【目次】

- 序 章
- 第一部 教主論をめぐる問題
  - 第一章 濟暹の教主義—安然説の受容—
  - 第二章 五種法身説の検討
- 第二部 五相成身觀の考察
  - 第三章 五相成身觀の日本的展開—安然と濟暹を中心に—
  - 第四章 般若訳經典における五相成身觀—安然説を中心に—
  - 第五章 『五部心觀』の五相成身觀
- 第三部 成仏論の形成
  - 第六章 濟暹の密教行位説
  - 第七章 重誉における機根の問題
- 第四部 東密と禅
  - 第八章 『菩提心論開見抄』の検討
  - 第九章 東密における禅—『菩提心論開見抄』を中心に—
- 第五部 東密と南都教学
  - 第十章 『大乘義章』の修学について—論義関連資料を中心に—

第十一章 日本における『大乘義章』の受容と展開

第十二章 中世における密教と諸思想の交流—珍海を中心に—

付論 重誉撰『秘宗深密鈔』について

終 章

## 資料編

温泉寺蔵『菩提心論開見抄』二巻・翻刻

智積院蔵『秘宗深密鈔』三巻・翻刻

あとがき／索引

## ◆著者略歴

一九七一年、神奈川県生まれ。一九九四年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。一九九七年、大正大学人間学部仏教学科卒業。二〇〇一年、早稲田大学大学院文学研究科東洋哲学専攻修士課程修了。二〇〇七年、同博士後期課程単位取得退学。博士（文学）。国際仏教学大学院大学附置日本古写経研究所・特任研究員等を経て、現在、早稲田大学・国際仏教学大学院大学非常勤講師。  
主な論文に「重誉における機根の問題」（『感性文化研究所紀要』七、二〇一〇）、「日本における『大乘義章』の受容と展開—附 身延文庫蔵『大乘義章第八抄』所収二種生死義翻刻—」（金剛大学仏教文化研究所編『地論宗の研究』所収。国書刊行会、二〇一七）等がある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
田戸大智著	法藏館
ISBN: 978-4-8318-6372-0 C3015	本体八、〇〇〇円十税
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

密教・仏教学・思想史